ハンディフォーム ピンク#330
主成分：ジフェニルメタンジイソシアネート(MDI)、トリス(モノクロロイソプロピル)ホスフェート、ポリオール混合液、クロロフルカン
火気厳禁
内容量：293g/300ml
発泡量：16 リットル
Tiefenackerstrasse 52 CH-9450 Altstatten, Switzerland
製造元：Polypag AG

火気と高温に注意

高圧ガスを使用した可燃性の製品であり、危険なため、下記の注意を守ること。❶炎や火気の近くで使用しないこと。❷火気を使用している室内で大量に使用しないこと。❸高温にすると破裂の危険があるため、直射日光の当たる所や火気等の近くなど温度が40度以上となるところに置かないこと。❹火の中に入れないこと。❺使い切って捨てること。 高圧ガス：LPG, DME

有毒性
引火性
眼鏡・ゴーグル
火気厳禁
自給式マスク
保護手袋
加温注意1
加温注意2
加温注意3
加温注意4

4 535203 033006

HANDI FOAM®

ハンディフォーム ピンク#330

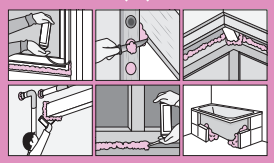
1液性硬質発泡ウレタンフォーム

- 環境に優しいノンフロン商品
- 硬化したフォームに自己消火性
- 残液あっても再利用可能
- ノンホルムアルデヒド製品登録認定 F☆☆☆☆ JAIA-010386
- 4VOC 基準適合製品登録認定 JAIA-504367

environmentally conscious ノンフロン

フォーム色 ライトピンク

高温にすると破裂の危険性がありますので、直射日光の当たる所や火気の近くなど、温度が40度以上になるところには置かないでください。



断熱、結露防止、接着、隙間充填、保温保冷、吸音、緩衝などに幅広く利用できます。

[警告]
- 可燃性ガス（LPG, DME）を使用していますので引火性があります。
- ウレタンフォームに火花、溶接屑が当たると燃えることがあります。火気および火花のあるところでは使用しないで下さい。
- 密閉箇所での使用は酸欠および爆発火災の恐れがありますので止めて下さい。
- 正しい使用方法に従ってもウレタンフォームが吐出しない場合、釘などでバルブをつついたり、容器に穴をあけたりすると液が飛び散ることがありますので止めて下さい。このような症状の場合は、発売元にお問い合わせ下さい。

[使用方法]
- 使用時にはマスク、防護メガネ、作業着、手袋等を着用して下さい。
- 使用場所の換気を良くして下さい。換気はウレタンフォーム作業終了後、約3時間は継続して下さい。
- 施工する場所以外にウレタンフォームが付着しないように、施工部分以外は養生して下さい。
- 吹き付け、充填箇所のほこり、油分等を除去してから使用して下さい。
- 使用する前に20回程、缶の中の液を混ぜるように振って下さい。（イラスト①）
- 付属のストローチューブを缶のバルブにねじ込んで下さい。（イラスト②）
- 缶は現場の状況に合わせて、倒立や正立で使用して下さい。但し、正立使用の場合は最初にガスが吐出してから原液が吐出します。
- ストローチューブの取っ手を引くと、液が噴射されます。（イラスト③④）
- ストローチューブの取っ手から指を外すと、液の噴射は止まります。
- 液は約1.5～2倍に発泡しますので、無駄のないように注入、充填をして下さい。
- 液が硬化するまでは手などで触れないで下さい。（液吐出後、6～9分で表面が硬化します。）
- 内部硬化後のフォームはカッター等で切断できます。（液吐出後、60分で内部硬化します。）また、塗料での塗装・着色もできます。

[再利用の方法]
- 一旦利用し容器に残液がある場合は、ストローチューブを缶から外さずに、図の様にストローチューブを折りたたんでアダプター上部のピンに深くしっかり差し込んで、保存して下さい。ウレタン専用洗浄剤でストローチューブやバルブを洗浄する必要はありません。保管は、正立状態のみならず、横向きでも可能です。こうして保存すれば再利用が可能です。但し、次回使用までの期間は1ヶ月をメドとしてください。（イラスト⑤）

[使用時の注意]
- 缶の使用温度は20～25℃、湿度は40%以上が最適です。5℃以下になると正常に発泡しなくなります。35℃以上になると発泡にムラが生じます。●液が固まっていない時は専用クリーナーで溶かすことができます。固まってしまうと溶かす液はありませんので、削り取るなどして下さい。（液の硬化は吐出後、2～3分で始まります。）●本商品は空気中の水分（湿気分）と反応して発泡、硬化します。極端に密閉された空間への注入・充填は、空気中の水分（湿気分）がウレタンフォームに充分に行き届かず、発泡不良につながりますので、ご注意下さい。（密閉空間への注入・充填用途の場合は、発売元に事前にお問い合わせ下さい。） また、極端に乾燥した状態での作業の場合は、施工面に事前に水分を霧吹き状に供給するとウレタンフォームの良好な発泡・硬化を助けます。●1回の注入、充填の発泡厚みは最大50ミリにして下さい。それ以上充填すると、内部に空気中の水分（湿気分）が浸透せず硬化不良になる可能性がありますので注意して下さい。●隙間が50ミリ以上の場合は、20～30ミリの注入、充填を何度かに分けて行って下さい。この場合、下層部の内部硬化を確認してから、次の層の注入・充填を行って下さい。●硬化したウレタンフォームは紫外線にあたると劣化します。直射日光にあたる場所への施工の場合は、ウレタンフォーム内部硬化後に必要に応じてパテや塗料などで表面を処理して下さい。（液吐出後、60分で内部硬化します。）紫外線による劣化を防ぎます。●硬化したフォームには自己消火性がありますが、自己消火性が現れるにはフォームが内部硬化した後です。内部硬化には温度や湿度によって差がありますが最低60分は必要です。使用場所での火元に十分ご注意下さい。

[保管時の注意]
- 10～20℃の冷暗所で保管して下さい。保管は正立のみならず、倒立、横向きでも可能です。●40℃以上となるところには置かないで下さい。破裂することがあります。●熱源、火のある所へは絶対に置かないで下さい。破裂することがあります。
- 幼児、児童の手の届かない所に保管して下さい。

[寒冷期での使用]
- 本商品が使用している発泡剤はLPGとDMEで沸点がマイナス側ですので、極端な負温度を除いて缶内部の原液が固化することはありません。しかし、寒冷期（特に1月から3月）での温度の低い場所での使用の場合は、事前に20℃前後の室内に缶を数時間置き、缶が20℃前後に温まってから使用して下さい。この際、時々缶を振って下さい。内部原液の温度がよりよく上昇します。●ストーブ、バーナー、熱湯（特に沸かしながら）で急速に温めると破裂することがありますので、絶対に止めて下さい。

[有効期間]
- 容器底に「日・月・年」の順に刻印されています。有効期限は製造日より18ヶ月ですが、開封後は有効期限に関わらず早めにご使用下さい。

[容器の廃棄]
- 使い終わった容器は火に入れないで下さい。●使い終わった容器は、火気のない屋外で噴射音が消えるまでガスを抜いてから、一般ゴミと分別して、地方自治体の規定に従って廃棄して下さい。●吐出口や缶内で内容物が固化した場合の廃棄は、発売元までお問い合わせ下さい。

[応急手当]
- 目に液の飛翔が入った場合、最低でも15分間、きれいな水で目を洗ってから医師の診断を受けて下さい。●手、指、皮膚に液が付着した場合、石鹸と水で直ちに丁寧に洗浄して下さい。皮膚への接触により軽い炎症や一時的に皮膚が黒ずむことがあります。刺激が続く場合はスキンクリームを塗って下さい。症状が残る場合は医師の診断を受けて下さい。●液を摂取した場合、無理やり吐こうとせず、1～2杯の水かミルクを飲んでから、医師の診断を受けて下さい。●ガスを吸い込んだ場合は、新鮮な空気のある所に移動して下さい。症状によっては医師の診断を受けて下さい。

危険

- 極めて可燃性の高いエアゾール
- 高圧容器：熱すると破裂のおそれ
- 吸入すると生命に危険
- 皮膚及び眼刺激
- 吸入するとアレルギー、ぜん（喘）息又は呼吸困難を起こすおそれ
- アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
- 授乳中の子に害を及ぼすおそれ
- 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
- 眠気又はめまいのおそれ
- 中枢神経系、呼吸器の障害のおそれ
- 長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器、肝臓、甲状腺の障害のおそれ
- 長期継続的影響によって水生生物に有害のおそれ

最大充填可能長さ（温度、湿度、その他の条件により数値が異なることがあります）			
発泡サイズ（目地）	10 mm x 10 mm	20 mm x 20 mm	30 mm x 30 mm
最大充填可能長さ	160m	40m	17m

輸入・発売元：フォモ・ジャパン株式会社
〒222–0021 神奈川県横浜市港北区篠原北 1-1-12　2 階
Tel : 045-717-9825　Fax : 045-780-5178
Email : info@fomo.co.jp